



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2560 地区

2019-20年度ガバナー

大谷光夫（高田 RC）

そろそろ天から白いものが落ちてくる季節になりました。一昔前は12月には結構積雪があったものですが近年は温暖化のせいかな随分少なくなってきました。私は過ごしやすくいいと思うのですが、雪が少ないと困る職種もあるので何とも言えませんね。

7月1日にエレクトがとれて正式にガバナーになりましたが早いものであつという間に半年がたとうとしています。公式訪問は残すところあと6クラブとなりました。公式訪問を行いましたクラブの皆様にはご協力頂きお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて12月は『疾病予防と治療月間』です。それに関して最近世界保健機構（WHO）が世界規模では初めてとなる目の疾患に関する調査報告書を発表しました。それによると失明や白内障などの視覚障害を持つ人は全世界76億人のうち少なくとも 22 億人に上るとみられるそうです。そのうち10億人は適切な手当てを受けられずに症状が悪化したとして、必要な手当てを受けられる体制の整備を各国に求めたとのこと。アフリカやアジアの中低所得国では失明している人の割合が先進国の約8倍に達していて、所得や地域による格差が顕著になっているとのこと。

これは目の病気の話ですがおそらく全ての疾病についてほぼ同じような状況があることと思われます。

何とかしなくては、という思いは皆持たれると思います。大事なのはそういう状況に対して常に思いを致すことでしょう。そうすることがいつかは良い方向へ進むことになる力になるでしょう。

国際ロータリー第2560地区 2019-20年度地区大会報告



2019-20年度
地区大会実行委員会
委員長 遠藤巖（高田RC）

2019-20年度地区大会が10月26～27日にRI会長代理渡辺好政様をお迎えし、歴史と文化の街、上越市に於いて第7分区8クラブがホストクラブとなり、開催されました。

第1日目の指導者研修セミナーはやすねを会場とし、13時より大谷ガバナーの点鐘で始まり、開会セレモニーに続き、第2560地区各委員会委員長による活動報告があり、その後今回初めての研修として、各分区ガバナー補佐による担当分区活動報告をお願いし、参加ロータリークラブがこれから行う奉仕活動の参考になる有意義な研修セミナーになったと思っております。

研修セミナー終了後、17時より行われた国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会には新保エイド御夫妻、そして多くのパストガバナーにもご列席を頂き、渡辺パストガバナーの乾杯の発声により歓迎晩餐会が始まりました。アトラクションは高橋由美さんのフルート演奏で場が和み、楽しい晩餐会になったと思います。



10月27日（日）大会2日目、デュオ・セレッソに於いて開催し、開会宣言、大谷ガバナーの点鐘により午前の部が始まり、開会セレモニーに続き、ご来賓の新潟県知事花角英世様、上越市長村山秀幸様、上越商工会議所会頭高橋信雄様の祝辞がありRI 会長のメッセージビデオの後、RI 会長代理より御挨拶を頂き、続いて前年度収支報告、監査報告等が承認され、各種表彰、2020年国際大会アピールを最後に午前中のプログラムが終了致しました。





午後の部は13時より、記念講演としてフリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子先生より「新潟から日本を変える！これからの企業のあり方」と題してご講演を頂き、その後RI会長代理より地区大会全般に亘るご講評と身に余る賛辞を頂戴致しました。引き続き、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの各氏より御挨拶が

あり、ガバナーの謝辞により本会議の日程全てが終了致しました。

続いてロータリー親睦交流会が16時10分より始まり地区大会記念親睦ゴルフ大会表彰式の後、新保副ガバナーの乾杯の発声により交流会が始まりました。互いに親睦を深め、楽しい時間は瞬く間に過ぎ、18時30分「手に手つないで」で名残惜しく終了致しました。

今地区大会開催にあたり、大谷ガバナーを中心に高田ロータリークラブと共に第7分区8クラブがホストクラブとなり、総力をあげて、大谷ガバナーの「楽しいロータリーでつながろう」をスローガンに準備をして参りました。8クラブがそれぞれの担当部門で綿密な計画・準備・実施をし、第7分区のロータリアンが心をつなぐ出来た事と思います。皆様の御協力のおかげで地区大会をつつがなく終えることが出来ました。また、多くの会員の皆様にご登録・ご参加いただいたことに深く感謝いたします。地区大会に関わって下さいました関係各位に心から感謝と御礼を申し上げ、地区大会報告とさせていただきます。ありがとうございました。





第1分区 IM報告

IMテーマ「クラブ運営の根幹を考えよう」

2019年-20年度

第1分区ガバナー補佐

小野寺眞夫（新発田RC）

遅ればせながら、第一分区 IM の報告させていただきます。

9月28日、新発田ロータリークラブ（会長島田茂、実行委員長小島慎二）主幹で、月岡温泉「清風苑」において「クラブ運営の根幹を考えよう」というテーマを掲げ、総勢222名の参加を得て、三部構成（第一部式典、第二部講演会、第三部懇親会）で盛大に開催されました。

第一部の式典は、ご来賓としてパストガバナーの新保清久氏及びガバナーエレクトの佐藤真氏（代理ガバナー補佐エレクト佐藤正志氏）をお招きし、厳粛な雰囲気の中で粛々と進められました。特に新保パストガバナーには、祝辞及び講評をお願いした所、快くお引き受け頂きました。大変ありがとうございました。



第二部の講演会ですが、私は、第一分区9クラブのクラブ協議会に参加させて頂きましたが、当然の如く各クラブともクラブ運営に関し悩みを抱えておられます。そこで、ロータリー活動に精通しておられます、国際ロータリークラブ第2840地区パストガバナー、高崎ロータリークラブの田中久夫氏をお招きして「クラブ運営の根幹を考えよう～私たちがロータリーに居続ける理由～」と題しての講演を頂きました。

内容は、大まかに言うと①新会員はロータリーに何を期待して入ってきたのか？（ターゲット層の理解）②現会員はロータリーの現状や将来をどう思っているのか？（知りたくなかった現会員の声）③新会員を増強する為の実践的方策④新会員・現会員共に楽しむクラブライフ（私たちはロータリーで何を求めているのか？）でしたが、クラブ運営の本質をく事な内容で、参加者全員が講演に魅了されました。

第三部の懇親会では、アトラクションとして、マジックアーティストの渋谷駿さんをお招きし、マジックを披露して頂きました。その内容に驚愕すると共に、美味しい地酒を堪能し皆様和やかなムードでIMは終了致しました。

最後に、次年度は、いよいよ第一分区から佐藤真さんをガバナーとして輩出します。9クラブ全体が一つの船に乗っているつもりで、第一分区全体で応援致します。よろしくお願い致します。





第6分区 IM の報告

「楽しいロータリーでつながろう」

2019-20年度

第6分区ガバナー補佐
藤田真実（十日町 RC）

10月6日当間高原リゾートベルナティオにて第6分区 IM を開催させていただきました。
楽しいロータリーライフをおくるには、まず例会に出席すること。地区のセミナーに積極的に参加することで、第6分区内の交流をより深めると思います。その為に型にはめず、面白く（楽しく）学べる IM でなければと考え、下記のプログラムにしました。

プログラム

14:00～14:20 開会式

14:20～15:30 【基調講演】

演題「元『週刊文春』編集長の最強の仕事術」

株式会社文藝春秋 週刊文春編集局長 新谷 学氏

15:30～15:45 休憩

15:45～16:20 「私のロータリーライフ」パストガバナー渡辺 敏彦氏

17:00～17:15 【アトラクション】

曲芸師（天野耕太）

17:15～18:35 【懇親会】

学んだこと



新谷 学氏

- ① 編集長になった時、スタッフに言った
「我々にとって一番大切なもの・武器、それは
スクープ力だ！ 皆さんはしっかり取材を
し、良いネタをとって来てくれ、責任は私が
とる。」
- ② モットー1「親しき仲にもスキャンダル」
世の中に伝えるべきことがあれば人間関係
が壊れても書く。
モットー2「ど真ん中を目指す」
あらゆる権力から等距離を保つ。
- ③ 企業にとって大切なものは何か、守るもの、
必殺技はあるか（ブランド）



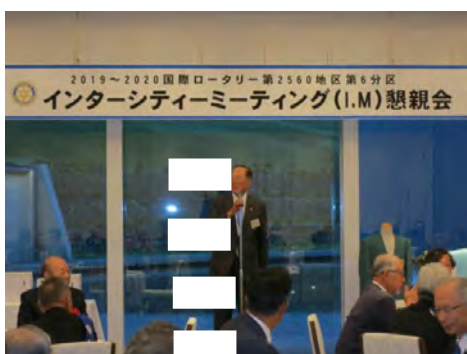
渡辺 敏彦氏

34歳の時RCに入会。45歳の時に会長。この時「楽しくなければロータリーでない」をモットーにし、60歳の時ガバナーになり、「ロータリーを楽しく、地区を元気に」をモットーにした。ロータリー歴38年、知り合い（友人）を広め、ビジネスに活かし、奉仕の機会を増やし楽しく送ってきました。



曲芸師 天野 耕太氏

13歳で単身スペインのベンボスタサーカスに入る。司会者が天野さんを紹介したが、本人からの言葉はなく、曲芸を披露された。15分間、会場内全員静観のみであった。今日一番の拍手であった。



佐々木 昌敏氏

とてもよいお言葉を頂きました。

今回のIMは、参加者が楽しかった、学んだと思っただけなのが目的であった。最後に懇親会の料理の試食会もやった甲斐があり、多くの皆様に楽しんでいただけたと思います。





第2560地区ローターアクトの日

2019-20年度

ローターアクト委員会

委員長 上村宏（長岡東RC）

令和元年9月8日（日）に、2560地区ローターアクトの日 地区行事が開催されました。ローターアクトの日とはアクト(9)ト(10)の語呂合わせで、毎年9月10日に最も近い日曜日に、全国のローターアクトが各地で市民へのアピール及びローターアクターの意識向上を図ることを目的に奉仕活動を行っています。当地区では本年は地区行事として、社会的問題のひとつである「アルコール依存症」について考える勉強会を開催しました。

研修の主な目的は、過度の飲酒による依存症のリスクを学び、正しい飲酒について知識を深め考えることで、第1部は実際にアルコール依存症（AA）の方を複数名お越しいただき、同じ境遇の仲間の方々と共に支え合い依存症を克服している体験談をお話いただきました。AAの皆様は匿名で活動されており講演中の写真撮影は不可で、詳細な講演内容も掲載はできませんが、日頃から今回のような講演活動を積極的に展開しているとのことで、自らの辛い体験をあえて多くの方々に直接伝え聞かせ、同じ境遇にならないよう啓蒙している姿に、とても感銘を受けました。

第二部ではローターアクターとロータリアンが合同で何グループかに分かれ、第一部の講演で学んだ知識を活かしながらグループワークを行いました。今回はロータリーの本年度地区事業方針の中で、青少年奉仕に関する理解を深めることが目標の一つに掲げられていることもあり、ローターアクトクラブ提唱クラブ以外の各クラブからも多数のロータリアンよりご参加いただき、お陰様でローターアクターと共に活発な議論を展開することができました。アルコール依存症について考える機会となったことはもちろん、多くのロータリアンの皆様にローターアクト活動に関する理解を更に深めてもらうきっかけとなったのではないかと感じています。

また、来年4月11日（土）には2560地区ローターアクト地区大会が新潟市で開催予定です。ロータリアンの皆様におかれましてはご多用のところは存じますが、ぜひ今回の事業を更に上回る多くの皆様にぜひご参加いただき、ローターアクトの活動により一層関心を持っていただくようお願い申し上げます。





第1回米山記念奨学委員長 セミナー報告

2019-20年度
米山記念奨学委員会寄付増進委員会
委員長 小林玄太（新潟北RC）

10月19日（土）ホテルイタリア軒（新潟市）にて、各クラブの米山記念奨学委員長48名、地区役員4名、地区米山記念奨学委員11名、計63名の参加をいただき、第1回米山記念奨学委員長セミナーを開催いたしました。

最初に大谷光夫ガバナー（高田RC）、続いて佐藤真ガバナーエレクト（村上岩船RC）よりご挨拶をいただき、セミナーに入りました。

今回のセミナーの講演は 2560地区学友会会長 ^{そん り びん} 孫 犁 冰さんより『ロータリアンに学ぶ奉仕の精神』というテーマの話を、大変解りやすくいただきました。孫犁冰さんは、2001年4月～2003年3月まで米山記念奨学生（世話クラブ五泉RC）であり、現在は新潟東RC会員です。講演や卓話等、いつお願いしても「はいわかりました。ロータリークラブの為なら」と、承諾してくれるそうです。大変、ありがとうございます。

体験発表は米山記念奨学生のチュウ・シュンジェイさん（マレーシア出身 新潟大学修士課程 1年 世話クラブ新潟RC）と李 ^{り ぎょく} 鈺 さん（中国出身 新潟大学博士課程3年世話クラブ新潟西RC）の2名により奨学生としての体験発表をしていただきました。

祖国の紹介、日本での体験談、カウンセラーとの交流、ロータリークラブとの関わりなど、緊張しながらも堂々と日本語で話をしている姿には感動いたしました。この事業に関わるものとして喜びの瞬間でした。

そして寄付増進委員長の私から『寄付の現状について』について下記の通り、説明いたしました。

前年度の第 2560地区の個人平均寄付額は18,119円で全国 9位、全国平均を大きく上回っています。2019学年度は全国で18人増の868人枠、当地区は29人（新規採用20人、継続採用9人）です。2020学年度は26人予定（新規採用16人、継続採用10人）の採用予定です。当地区の寄付目標額は1人 20,000円です。寄付が増えれば、より多くの奨学生を採用できます。

ロータリアンの皆様の米山記念奨学会へのご理解とご支援とご協力をお願い致します。



2560 地区学友会会長 孫 犁 冰 さん
そん り びん



米山記念奨学生
チュウ・シュンジェイさん



米山記念奨学生
り ぎょく
李 鈺 さん



2019-20年度国際ロータリー第2560地区 第19回「ライラ研修」報告

2019-20年度

ライラ委員会

委員長 角谷正雄（雪国魚沼RC）

国際ロータリー第2560地区第19回「ライラ研修」は、テーマ「リーダーの資質を考える」、サブテーマを「地域のリーダーになるために必要なことを考える」として、143名の登録を頂き、雪国魚沼ロータリークラブ主管により、南魚沼市にある舞子高原ホテルにて、10月18日(金)から20日(日)の日程で開催しました。

今年度は、大谷ガバナーのご要望により2泊3日の研修となりました。「充実した3日間」とするため、研修生だけでなくロータリアンも「目から鱗が落ちる」気付きの多い充実した研修プログラムを取り入れて、舞子高原ホテル内で研修だけでなく懇親会・2次会・3次会まで含め、研修生とロータリアンが関われるように班編成や宿泊の部屋割りを工夫し、3日間「楽しく学ぶ」ように工夫しました。静と動の研修を交互に取り入れること、魚沼雪国の地やリゾート地でなければ体験できないことを体験して頂けたかと思えます。

研修は、南魚沼市長林茂男様からもご参加いただいた開会式から始まり、研修1：大谷ガバナーの「ロータリーの魅力」から始まり、翌日は朝から研修2：「班対抗グラウンド・ゴルフ大会」、研修3：舞子高原障害者スキースクール・ネージュ代表稲治大介氏から「障害者も楽しめるリゾートとは」、研修4：中小企業診断士・税理士で長岡RC直前会長の高野裕氏から「これからのリーダー」について、研修5：ぬか釜(杉の葉ともみ殻だけでお米を炊く)体験としてぬか釜製作者樋口和人氏、ぬか釜指導者上田の郷阿部さんよりご指導頂き、その後の懇親会では班ごとに自ら炊いたご飯を食べることができました。最終日は研修6：トーマスアンドチカライシ代表力石寛夫氏より「リーダーのホスピタリティとは」という、リーダーとして普段から考えておくことやリーダーとしての気配りなど3日間に亘る幅広い領域の研修でした。

また、懇親会・2次会・3次会の約6時間、2晩とも各テーブルだけでなく会場全体が和気藹々とした雰囲気であったという間に過ぎ、研修生同士、ロータリアン同士、そして研修生とロータリアンも含めた交流が図られました。懇親会では「班対抗グラウンド・ゴルフ大会表彰式」やローターアクトの久間美晴地区代表からのローターアクトクラブの活動内容の報告、そしてアトラクションは地元の魚沼吹奏楽団の方やギターリストの方に演奏して頂きました。

ライラ研修に参加された研修生、ロータリアンから「ホスピタリティの話がよかった」「グラウンド・ゴルフ初めてだったけど楽しかった」「多くの同年代の人たちだけでなく多くの若者とたくさん話せた」「来年も2泊3日がよい」などのお話を頂きました。

参加された皆さまが更にリーダーとしての資質を高められ、各地でご活躍されることを願っております。

最後になりますが今回の研修会にご協力頂きました南魚沼市長、舞子高原ホテル関係者、雪国魚沼RC地域の皆さま、地区内各RC、大谷ガバナー・小川地区副幹事・青少年奉仕委員会石倉委員長以下委員の皆さま、雪国魚沼RC水野会長・駒形実行委員長並びにメンバー各位、その他ご協力頂いた多くの関係者に御礼申し上げ報告と致します。





日本ロータリー学友会総会に参加して

2019-20年度

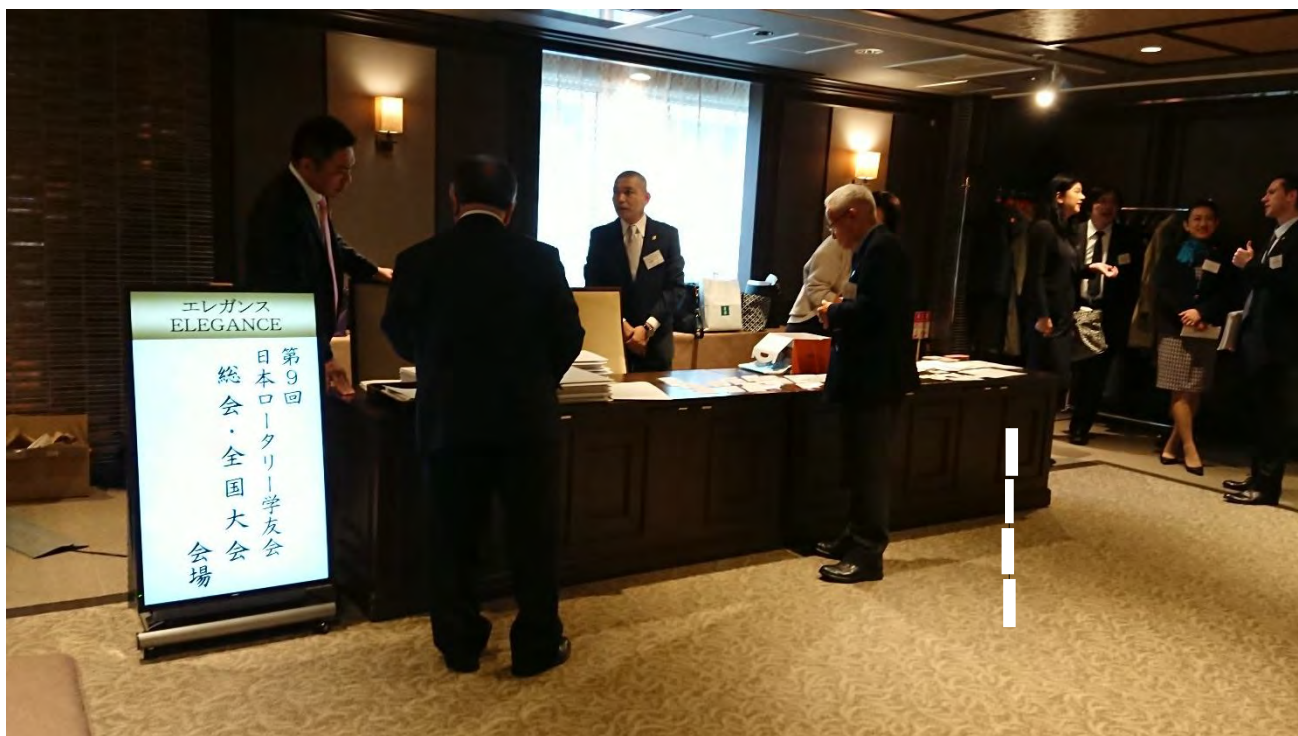
ロータリー財団委員会 学友会委員会
委員長 高橋秀樹（新潟RC）

さる10月26日（土）・27日（日）に、第9回日本ロータリー学友会総会が札幌のセンチュリーロイヤルホテルで開催されました。本地区からは後藤隆生さん（ロータリー財団委員会副委員長）、山田雄治さん（ロータリー財団委員会副委員長）、斎藤秀明さん（補助金・奨学金・V T T委員会委員長）そして私の4名が出席いたしました。

日本ロータリー学友会とは、日本の各地区の学友会をメンバーとして組織されているもので、毎年1回総会があります。今年は20地区から計84名の出席がありました。一日目は、開会挨拶・会務の後、講演会になり、第2510地区の1990-91年度G S Eメンバーだった森田茂氏「スマート農業による北海道酪農の未来」、同地区2014-15年度職業訓練チームのプーナワット・スパーブクン氏「タイと日本・北海道を繋ぐ架け橋に」、同チームメンバー富岡恵氏「リメイク・リサイクルの大きな力」、さらにRI職員のビル・リンツ氏「地区学友委員会の位置づけと学友会支援」といったお話を聴くことができました。グループディスカッションの後、懇親会になり親交を温めました。二日目は、ボランティア活動の早朝清掃に始まり、2019年ハンブルグ国際大会の参加報告がありました。

充実した二日間でしたが、私が最も印象に残ったのはディスカッションで聴いた他地区の学友会の様子です。首都圏のある地区は、＜大幅に奨学金を増額して奨学生派遣を続けている。応募者も多く、毎年数回にわたって説明会や選考会を行っている。地区学友会の活動（総会、チャリティコンサート、ボランティア活動等）も定期的に行っている＞とのことでしたが、地方の地区では＜地区補助金の制度ができてから、奨学生派遣を止めてしまった。しかし数十年続いてきた伝統ある学友会があり、毎年分厚い冊子を刊行している。新しい学友が生まれず、これまでの学友が必死になってローテーションで冊子刊行を支えている。毎年の実務担当が回ってくるのは5～6人。とにかくきつい＞と話すところもありました。そしてまた別の地区では、＜財団奨学生とは派遣後連絡が取れなくなるのが普通。あきらめている。それなのに国際ロータリーの方針により、地区学友会を発足させなければならなくなったので、ローターアクト経験者を核に組織しようと思っている。いったい何をどのようにすればよいか見当がつかず、日本ロータリー学友会に参加して他地区の活動を勉強させてもらおうと思ってやって来た＞とお話するところもありました。問題を抱えていない地区は無く、それぞれに大変なようです。

本地区では、毎年総会の参加者は多くないですが、幸いなことに組織的な枠組みはあり、1991年以来毎年総会が行われています。今後は、米山奨学生学友、青少年交換経験者、ローテックスのメンバーと協力して何らかの活動を行うことを考える時期に来ているのかなと思いつつ、札幌を立ち新潟に戻りました。





中学1年生が様々な生業を体験

2019-20年度
中条胎内ロータリークラブ
会長 布川邦彦

1. 日 時 令和元年10月10日(木)
【午前の部】 9:30~12:00 / 参加者131名
【午後の部】 13:30~16:00 / 参加者75名
2. 場 所 胎内市産業文化会館
3. 対象者 胎内市内中学校
(中条中学校・黒川中学校・築地中学校・乙中学校) 中学1年生 206名
4. 内 容
 - ・約45ブースの市内事業所等が出展
 - ・キャリア教育の一環として実施
5. 主 催 中条胎内ロータリークラブ
6. 後 援 胎内市教育委員会

10月10日、胎内市内4中学校の1年生(206名)全員に、約50事業所の職業を体験してもらった「職ナビ」を実施しました。会場となった胎内市産業文化会館では、屋内展示ブースで銀行・新聞社・美容室・弁護士・葬儀社・ジュエリーショップなど、屋外ではパトカー・消防車両・高所作業車・ダンプカー・被災地に駆けつけるATM搭載の郵便車両・ペットショップなども出展。

生徒は体験も交え、熱心にメモを取りながら説明を聞いたり質問したりしていました。参加生徒は「どれも本物だった。」「将来の職業を考えるキッカケにします。」などと話してくれました。

また、参加生徒数を上回る出展業者、学校関係者、市役所関係者、引率の父兄など多数の参加をいただきました。当クラブの目標の一つ「一つでも多くのありがとうの交換をつくり出す」の通り、一日中会場のあちこちで「ありがとう」の言葉が交わされていました。



シングلزパーティーを終えて

2019-20年度
雪国魚沼ロータリークラブ
社会奉仕委員長 八木主税

今年も6月2日（日）に第23回の雪国魚沼ロータリークラブ主催のシングلزパーティーが開催されました。毎年この日を迎えるまでの5ヶ月間は、クラブの実行委員会を中心に募集内容、スケジュール等を何回もの会議を重ねて一つ一つをクリアにして行く作業が大変であります。基本的な目的のひとつとして、男女の出会いの手助けになればという思いで行なっております。まず一番に行うことが、募集年齢を何歳までにするのか。これは結構大切で、前年のシングلزパーティーの終了後に参加者をお願いしているアンケートを元に決めたり、過去の内容を精査して決めております。なるべく多くの方々に参加して頂き、色々な方とのコミュニケーションを通してすてきな出会いがあったらいいなあ～、と思っております。今年度は、男性25名、女性25名の方々により開催されました。一対一トークでは参加された皆さん笑顔でお話ししている様子が印象的でした。我々ロータリーメンバーは各テーブル男女5名ずつ、5テーブルに分かれ、それぞれ1テーブルに2名のロータリアンが担当し、若い方々の邪魔をしない程度に時にはアドバイスをしながら後押しをする。これが結構難しく、つつい出しゃばってしまったりすることもあり、反省が絶えません。（笑）チャレンジタイムでは、女性1名に対し、男性複数という姿が多く見られ、結果今回は9組の素敵なカップルが誕生致しました。カップルになれなかった方も、この会に参加して得たことに自信を持ち、次の出会いにつながっていったらいいのかなあ～。と思っております。我々も、準備段階では紆余曲折がございましたが、いざやってみるとやはりやって良かったなと思えました。

又、参加された方々が楽しそうに話している様子が見られて良かったと思えます。何はともあれ、会場、ロビーでカップルになられた方々がお茶を飲んでいる姿を見ながら、本当に幸せな気持ちにさせていただきました。

次回令和2年6月7日（日）に第24回シングلزパーティーが行われることが決まっております。素敵なカップルが多く誕生してくれることを願っています。

若いカップルに幸多かれと!!





春の宵 シャンソンの夕べ報告

2019-20年度

越後魚沼ロータリークラブ会長
坂田明

我がクラブで恒例事業となりました、「春の宵 シャンソンの夕べ」は毎年、魚沼市小出郷文化会館にて開催されています。この事業の始まりは、地域文化振興事業として、市内の方々だけでなく、市外の方にも文化と音楽で感動や豊かな心を育んでもらいたいという考えから 2009年にスタートし、2019年5月で11回目を迎えました。

ジャズやポップスなどは数多くのニーズがありますが、あまり聞く事が出来ない『シャンソン』を取り上げる事になりました。最初『シャンソン』というジャンルで集客に苦労しましたが、今では市内外の方だけではなく、県外の方も足を運んで下さいます。近年は満員御礼の大盛況で幕を閉じる事ができています。ありがとうございます。

出演者して下さった方の中には、元宝塚歌劇団で活躍された方や、元老舗のシャンソニエ「銀巴里」で活躍された方、銀座にあるシャンソンバー「ボンボン」などで活躍された方がいます。そして、お客様は新聞の記事を見て足を運んで下さるシャンソン通の方や、初めてシャンソンを聞くという方、お子様と一緒に来て下さる方、そして毎年来て下さる常連さんと、様々です。

アンケートには、「とても感動した。」「涙が出てしまいました。」「若返ったようです。」「また来年も楽しみにしています。」など、温かい言葉をかけていただいています。

当クラブは少人数ではありますが、このように1つ1つの事業を行い、地域の方と交流することで、ロータリークラブを少しずつ確実にPRしていければと思います。

次回は 2020年5月17日(日)に開催を予定しています。皆様、今からぜひご予約下さい。



ガバナー公式訪問日程（12, 1月）

12月の公式訪問						
月	火	水	木	金	土	日
						<u>1</u>
<u>2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>7</u>	<u>8</u>
<u>9</u>	<u>10</u> 直江津 ⑦	<u>11</u>	<u>12</u>	<u>13</u>	<u>14</u>	<u>15</u>
<u>16</u>	<u>17</u>	<u>18</u>	<u>19</u>	<u>20</u>	<u>21</u>	<u>22</u>
<u>23</u>	<u>24</u>	<u>25</u>	<u>26</u>	<u>27</u>	<u>28</u>	<u>29</u>
<u>30</u>	<u>31</u>					

1月の公式訪問						
月	火	水	木	金	土	日
		<u>1</u> 元日	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>
<u>6</u>	<u>7</u>	<u>8</u>	<u>9</u>	<u>10</u>	<u>11</u>	<u>12</u>
<u>13</u> 成人の日	<u>14</u>	<u>15</u>	<u>16</u>	<u>17</u>	<u>18</u>	<u>19</u>
<u>20</u>	<u>21</u>	<u>22</u>	<u>23</u>	<u>24</u>	<u>25</u>	<u>26</u>
<u>27</u>	<u>28</u>	<u>29</u>	<u>30</u>	<u>31</u>		

新会員(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
村上岩船	三科 陽	2019.10.7	(株)三科塗装工業	代表取締役	塗装業
小千谷	小島 勇人	2019.10.10	(株)アクロス	代表取締役	金融 保険代理
直江津	木村 良彦	2019.10.15	(株)かみえちご測地	代表取締役	測量設計
越後春日山	米山 孝幸	2019.10.24	羽深機工(株)	専務取締役	建設業
栃尾	白倉 龍典	2019.11.1	(有)白倉ニット	専務取締役	ニット製造業
高田	長谷川 優太	2019.11.1	(株)岡三にいがた証券上越支店	支店長	証券業
高田	原野 聖子	2019.11.1	弁護士法人つばき 上越つばき法律事務所	弁護士	弁護士
柏崎中央	柿崎 啓子	2019.11.5	司法書士 柿崎啓子事務所	所長	司法書士
柏崎中央	高橋 英理子	2019.11.5	すなつく みなみ	代表	飲食業
新発田城南	鈴木 由里絵	2019.11.7	ナイトラウンジ アンジェス	代表	スナック
直江津	伊藤 顕一	2019.11.12	(株)いとう商会	代表取締役	トータルクリーンサービス
直江津	山岸 匡之	2019.11.12	北陸工業(株)	代表取締役	管工事業
加茂	齋藤 淳	2019.11.14	合同会社 ライフジャパン	代表社員	国際コンサルタント業

訃報

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	経歴・その他
三条	熊倉 昌平	2019.10.9	(有)熊倉建設設計事務所	会長	三条RC 第31代会長

心よりご冥福をお祈り致します。

(敬称略)

第 2560 地区 2019-20 年度 10 月末 会員数および My Rotary アカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウ	会員数			
			2019 年	10月 末	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	✓	-	381	387	36	6
新発田	2	18.9%	91	95	0	4
村上	4	18.9%	36	37	9	1
水原	3	20.0%	30	30	1	0
中条	4	100.0%	39	40	4	1
新発田城南	4	13.0%	47	46	3	-1
豊栄	3	13.0%	23	23	3	0
新発田中央	4	4.0%	50	50	5	0
中条胎内	5	54.1%	37	37	6	0
村上岩船	3	20.7%	28	29	5	1
第2分区(9クラブ)	✓	-	424	445	22	21
新潟	4	16.7%	84	96	2	12
新潟東	4	15.8%	54	57	6	3
新潟南	4	33.7%	103	104	3	1
佐渡	5	100.0%	6	6	0	0
新潟西	4	53.8%	37	39	1	2
佐渡南	3	9.8%	41	41	5	0
新潟北	3	26.8%	38	41	0	3
新潟中央	4	36.4%	22	22	0	0
新潟万代	3	56.4%	39	39	5	0
第3分区(6クラブ)	✓	-	109	111	5	2
新津	4	10.5%	19	19	0	0
村松	4	80.0%	10	10	0	0
五泉	4	0.0%	12	12	1	0
白根	4	23.5%	31	34	1	3
新津中央	4	25.9%	28	27	2	-1
阿賀野川ライン	4	0.0%	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	✓	-	370	377	29	7
三条	5	10.3%	56	57	0	1
燕	3	5.6%	33	36	3	3
加茂	5	10.3%	28	29	5	1
三条南	4	12.8%	48	47	3	-1
分水	4	80.6%	28	31	4	3
見附	4	9.5%	20	21	1	1
吉田	3	3.2%	31	31	4	0
三条北	3	0.0%	60	59	2	-1
巻	4	0.0%	25	25	1	0
田上あじさい	4	14.3%	7	7	1	0
三条東	3	2.9%	34	34	5	0

R C	例会数	My Rotary アカウ	会員数			
			2019 年	10月 末	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	✓	-	305	318	25	13
長岡	3	94.1%	46	51	4	5
柏崎	5	2.2%	41	46	0	5
長岡東	4	25.4%	58	59	4	1
柏崎東	3	18.4%	48	49	4	1
栃尾	3	13.6%	22	22	0	0
長岡西	4	17.9%	54	56	5	2
柏崎中央	3	28.6%	36	35	8	-1
第6分区(6クラブ)	✓	-	141	144	10	3
十日町	3	19.4%	28	31	3	3
小千谷	4	9.1%	32	33	2	1
雪国魚沼	5	3.8%	26	26	2	0
十日町北	3	4.3%	23	23	2	0
津南	3	18.5%	26	25	1	-1
越後魚沼	3	16.7%	6	6	0	0
第7分区(8クラブ)	✓	-	322	325	19	3
高田	4	40.7%	59	59	0	0
直江津	3	33.8%	64	65	5	1
新井	5	0.0%	33	33	1	0
糸魚川	4	97.6%	42	42	3	0
高田東	3	66.7%	36	36	2	0
糸魚川中央	4	51.4%	35	35	0	0
頸北	3	28.6%	13	14	2	1
越後春日山	5	100.0%	40	41	6	1

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,052 人
10月末 会員数	2,107 人
女性会員数	146 人
純増減会員数	55 人
My Rotaryアカウント登録率	28.3 %

【地区予定表 12月ー2020年1月】

- 疾病予防と治療月間 -			
12月	1 (日)	社会奉仕委員会セミナー	
	7 (土)	ロータリー財団地区奨学生募集説明会	万代シルバーホテル
	8 (日)	2019全国青少年交換委員長会議	東京品川
	14 (土)	ガバナーエレクト渡米壮行会・地区諮問委員会・地区運営会議	ANAクラウンプラザホテル新潟
	21 (土)	ROTEX会議・長期派遣学生オリエンテーション・クリスマス会	ホテルハイマート
	23 (月)	I A献血キャンペーン	新潟・上越
	26~28 (木~土)	青少年交換学生スキー国際交流研修	妙高杉ノ原スキー場

2020年

- 職業奉仕月間 -			
1月	18 (土)	2020学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
	19~25 (日~土)	2020年度国際協議会	アメリカカリフォルニア州サンディエゴ
	25 (土)	財団ミーティング	万代シルバーホテル

新会員に対する早期のロータリー哲学教育の重要性

本ARCを2年半経験しての感想を述べる。

グローバルなロータリー活動では、会員増強、財団への寄付、6つの分野への国際社会奉仕などに重点が置かれており、国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体であると公言している。しかし、これらを実行するのは草の根のロータリアンである。

私の属している2700地区や会員増強セミナーで基調講演をした2720地区で、①ロータリーは奉仕団体である ②ロータリーは異業種交流の親睦団体である ③ロータリーは親睦と奉仕の二本立の団体であるとの三択問題を質問すると、①に手を挙げる人は皆無、②はバラバラ、③が圧倒的に多数である。しかも親睦と奉仕の関係は、「例会なくして親睦なし 親睦なくして奉仕なし」と考えている人がかなり多い。とすると、2700地区や2720地区の草の根のロータリアンとグローバルなロータリーではロータリー哲学の認識に食い違いがある。

この点に関しては古くから問題が指摘されている。アーチ・C・クランプ(第六代会長)。ロータリークラブの側にも、また、余りにも多くの個人ロータリアンの側にも、ロータリーとその目的、その目標、その理想について、明らかに認識不足がある。現在の管理当局はこの問題に真剣に取り組んだ結果、啓蒙運動として何らかの手段を講ずることが最も肝要だと考えた。この問題のすべては主としてクラブ会長の手にあるのだ。国際理事会がいかに努力しようとも、クラブ会長が有益な提案を執行しないならば、すべては徒労に帰すのだ。(ロータリー・モザイク ハロルド・トーマス著 松本兼二郎訳 59ページ)

そして、クラブの新会員が時を経てその重要なクラブ会長になり、その会長がまた時を経てガバナーになり、さらにARCのような中間管理職になる。もし、新会員にロータリー哲学の正しい初期教育が施されずに、「例会や飲み会に出席しておればそのうちに分かるよ」と放置され、例えば、例会出席、親睦、職業奉仕がロータリーの本質であるかのような刷り込みがなされたとなると、その後のPETSやGETS、あるいは国際協議会などの短期の研修会がいかに優れたものであっても、初期の刷り込みを打ち消すことはなかなか困難で、研修会での貴重な話が馬耳東風に聞き流されるのではないかと思うが如何であろうか。

「ロータリーの哲学などがきちんと理解されて、運動が続いていかない限り、しまいには単なる人の集まりに陥ってしまうのではないかと思います(ロータリーの友2019年10月号横組み32ページ)」また、これは初期教育のさらに前の段階の話になるが、「奉仕活動に興味のある人を誘うことが重要である」(ロータリーの友2019年8月号横組み16ページ)

第3地域ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭(博多RC)

日本の極端な出生数出生率の低下・超高齢化の中でロータリーとつながった錯覚のないインスピレーションを受けた幅広い人々のロータリーへの参加

世界でも類を見ない日本の「少子高齢化人口減少社会」の訪れを目の前にした今、ロータリーとのつながりを重視した、思い込みや錯覚のないインスピレーションを受けた幅広い人々のロータリーへの参加を目指さなければいけません。そこでロータリーは革新柔軟性のある広報によってロータリーのブランディングを高めるために「世界を変える行動人」と言う新しいグローバル広告キャンペーンを立ち上げました。そのキャッチコピーとしてはこれまでの「変えていこう」「力をつなごう」「ポリオをなくそう」「インスピレーションを生み出そう」に加え2019年2月発表の「導こう」「命を守ろう」「平和な世界を築こう」「学びを深めよう」「食育を支えよう」という言葉を使い、仕掛けにストーリー性をもたして地域や世界でより大きく貢献することによりロータリーの公共イメージを向上させようとしています。

最近緊張の中にも笑ってしまい笑ってしまうも生真面目になり生真面目の中にも現実を知りその現実の中にも反省しなければいけない話を聞いてしまいました。某都市部のクラブ員30～40人クラスのロータリークラブの例会においてその日クラブ内の説明会にRIと言う言葉が頻回に出て来たのですが説明者がアールワンと発言しそれが最後まで続きしかも誰もその発音の間違いに最後まで気がつかなかったと言う内容です。そのクラブでは年間を通じてガバナー公式訪問や地区大会等に於いて年間2～3回しかRI(アールアイ)と言う言葉を聞くことがないからだとのその方の言い訳説明でした。今ロータリーの現状を分析しますと自分との立場が似ている者同士は内容をよく理解しているものと判断し「会議は踊る」でロータリーの話は進行して行っていますが一方で会員の中にはロータリー活動に無関心な方も多く見られます。関心派を1人でも多く作りみんなできつなかりを持っていかなければいけません。最近身の回りであった「ロータリーは世界をつなぐ」の実践例を紹介いたします。2019/8/6～2019/8/14坂出東四国ロータリーサテライトクラブの議長の私と副議長の山野友禎武者小路千家教授及びアシスタント3人で、地区の国際奉仕ファンド(昔のWCS)より補助金をいただいてエチオピア大統領府にあるアフリカ唯一の日本庭園の茶室で茶道具の寄贈及び記念茶会を催すため、アディスアベバに行き参りました。日本庭園は前皇帝でハイレセラシエ1世が1958年に日本の庭園技術に感銘を受けて作ったものです。茶室はあるものの十分な茶道具がないため今回釜や茶碗を含む茶道具を寄贈しました。当日はクラブの副議長である山野武者小路千家教授が亭主役となりエチオピアの政府要人(Teferi Fikre Gossaye副大統領、デラルツツル大統領補佐官、アフェワーク科学高等教育大臣、オリンピックのマラソンで優勝したメコネンなど)に作法に従って薄茶を差し上げました。この日は日本庭園に多くのテレビ局・新聞社の報道関係の方々が集まってこれしきりにインタビューがおこなわれました。

今回は衛星クラブであっても親クラブと協調して、あるいは単独でも国際貢献ができることを紹介しました。各地区で参考になれば幸いです。

第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 前田直俊

(坂出東 RC、坂出東四国ロータリーサテライトクラブ)



1. 2020 学年度奨学金申込み状況

2020 学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校 558 校（「地区を超えた指定校」の重複含む。前年度 540 校）から 1,402 人（1,384 人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国 53.1%（51.0%）、ベトナム 10.8%（13.3%）、韓国 8.5%（9.3%）、台湾 3.6%（3.3%）、次いでマレーシア、インドネシ

ア、ネパールの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程 21.5%（21.2%）、修士課程 36.2%（37.9%）、学部課程 40.0%（38.7%）と、昨年度に続いて学部課程が、従来の傾向では最も多かった修士課程を上回っています。大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、7 地区 14 校から計 33 人の応募がありました。

2. 米山イベント満載の地区大会 — 第 2800 地区 —

10 月 19・20 日、第 2800 地区（山形県）の地区大会は、米山奨学生・学友が活躍するシーン満載の地区大会でした。

1 日目夜は、米山奨学生・学友・ロータリアンが集まる「米山ナイト」を開くのが同地区の恒例行事です。今年は、中国から招へいた米山学友の姫 軍さん（1995-97／東京臨海 RC）ご夫妻を迎え、50 人が参加する盛会となりました。はるばる韓国、東京からも、同地区出身の学友が駆けつけ再会の時を楽しみました。

大会 2 日目は、ベナン出身の米山学友、マリエッタさん（2017-19／鶴岡 RC）の君が代



独唱からスタート。本会議プログラムと併行し開かれた、米山奨学生・学友、インターアクト・ローターアクト・青少年交換学生が一堂に会する「青少年交流会」では、多様な国籍や年代が一緒になってグループディスカッションが行われました。

大会のハイライトとなる記念講演には、米山学友の姫 軍さんが登壇。「心をつないで、世界に」をテーマに、つながりから離れよう、自国のみを守ろうとする世界的潮流の中で、“つながる”こと

の意味は何か、「心をつなぐ」とはどのような事なのか——。心に訴えかける姫さんの語り、会場は静まり返って聞き入りました。

3. 寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝 —

10 月までの寄付金は、前年同期と比べて 1.11%減（普通寄付金:0.01%減、特別寄付金:1.92%減）、約 600 万円の減少となりました。9 月には寄付累計額がいったん増額に転じましたが、10 月単月の寄付が昨年度より少なく、再び前年度比マイナスとなりました。一方

で、「米山月間」である 10 月には、学友からも計 45 万円のご寄付をいただきました。米山学友も含め、多くの方々からのご寄付に厚く御礼申し上げます。上期も残り 2 カ月弱となりました。今後とも引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

4. 海外学友会の海岸清掃活動

タイ米山学友会、マレーシア米山学友会がそれぞれ、11月最初の週末に海岸清掃活動を行いました。たまたま同時期に重なったものですが、奉仕の精神を学んだ米山学友会ならではの、国を超えた一体感が感じられます。

【タイ】

環境保護活動に力を入れるタイ学友会では、海岸清掃は恒例の奉仕活動。今回は初めて、世界的な



観光地であるパタヤビーチで行いました。11月2・3日の各1時間、学友と家族12人が汗だくになって海岸のゴミを拾う姿に、観光客から「一緒にやりたい」と声をかけられたり、地元の人から賞賛される場面もあったそうです。「私たちの活動を見て、ビーチに遊びに来る人がゴミを捨てなくなったら大変嬉しい」と、幹事

のワシン・テイシャシャイニランさんは話しています。

【マレーシア】

マレーシア学友会も、11月3日にペナンの人気商業エリアにある Karpal Singh Drive 沿いの海岸清掃を行いました。同地域での活動は、8月に次いで2

度目の実施で、地元ペナンだけでなく、クアラルンプールからも学友と家族が集まり、20人以上が参加しました。「共に活

動して親睦を深めただけでなく、環境破壊の深刻さを痛感し、会員一同、次の世代に住める地球を残す責任と環境教育の重要性を実感しました。今後、地元のロータリークラブなどともコラボして、活動を広げていきたい」と、会長の黄麗容さんは語ります。前回に続き、今回の活動も、地元紙に大きく掲載されました。



5. 台風被災地でボランティア

マレーシア出身の米山学友、^{ヤップ} ^{チーエン} 叶志恩さん（2011-13/有田南RC）が10月26日、台風や豪雨で甚大な被害を受けた千葉県君津市でボランティア活動をしました。ボランティアセンターに集まった他の登録者と協力し、高齢ご夫妻の自宅物置から、水に浸かった家財を含め、1,000冊以上にのぼる書籍や家具を取り出し、解体し、土嚢袋に詰める作業を行いました。その数は軽トラック5台分もになったとのこと。

ヤップさんは3年前の熊本大地震の際も、現地に赴いて1週間ボランティア活動をし、熊本東RCの例会で報告をしました。ヤップさんの気持ちと行動力は、被災した方々の大きな力となったことと思います。心から感謝申し上げます。



【ヤップさんからのコメント】 奨学生時代、第2640地区のロータリアンとともに和歌山県南部の台風被災地へボランティアに行った経験が今でもずっと心に残っています。同じ国、同じ地球に住んでいて、自分はどれほど恵まれているか、気付くことができました。たくさん行動して Give and take and happy and give というサイクルを回していきたいですし、行動してくれる学友が増えるよう願っています。

🌐 海外米山学友会総会のご案内 🌐

◆中国（上海）◆ 2020年1月11日（土）16:30～20:30 予定/会場：後日決定 ◆マレーシア◆ 2020年2月16日（日）14:00～17:00/会場：YMCA KL ◆タイ◆ 2020年2月22日（土）17:00～18:00 総会 18:30～デイナー/会場：S31 Hotel ◆ミャンマー◆ 2020年3月21日（土）16:30～19:30/会場：Sein Lan So Pyay Garden